

समय के समक्ष

「時間という存在の前で」

について

2025 年1月 14 日

読者の皆さん

シュブ・マカラ・サン克蘭ティ。2025 年明けましておめでとうございます。

この新たな始まりの時期に、皆さんに手紙を送ることができるのはとても素晴らしいことです。そしてそれは「いつも」、志を同じくする人々とつながるには適切な時だと思います。

1月1日 元日——シッダ・ヨーガの道において非常に重要となった日——私たちはシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで一緒に過ごしました。私たちが一番好きな方法で、シッダ・ヨーガの道において最も感謝する方法で、新年を迎えました。私たちは、私たちのグルであるグルマーイ・チッドヴィラーサーナンドと共に、スウィートサプライズ(嬉しい驚き)に参加しました。

グルマーイに 2025 年のメッセージを私たちに与えてくれたことの感謝を述べるとき、私はすべてのシッダ・ヨーギを代表して話していることを自覚しています。そして、リズミカルでスートラのような性質を持つこのメッセージには、「実に多くの」ことが込められていると思いませんか？一方で、このメッセージの中心となる概念である「時間」は、私たちにとってなじみ深いものです。私たちは生まれるとすぐに、時間との闘いを余儀なくされます。私たちは時間と関係を結び、好むと好まざるとにかかわらず、一生その関係の中にいます。それでも、あなたも、私も、そして私たち「全員」が知るように、時間については神秘的で、捉えどころのない、実に挑戦的な何かがずっと存在しています。私たちは、老いも若きも、常に時間と格闘し、常に時間を理

解しようとし、常に最も有益に時間と関わる方法を理解しようとしています。私たちは、直接的にも間接的にも、「時間とは何か」という昔からの疑問に導かれます。

今年 1月2日、グルマールは、セーヴァーをささげるためにシュリー・ムクターナンド・アーシュラムを訪れていた子どもたち、若者たち、親たちとサツァングを開催していました。このサツァング中のある時点で、11 歳の少年の両親が、ここ数カ月で息子が時間に強い興味を持ち始めたと話しました。彼は多くの夜寝る前に、両親に時間について質問し、時間についての自分の考えや哲学を話しました。少年に芽生えつつある興味を支えるために、父親は息子と一緒に時間と永遠をテーマにしたドキュメンタリーを見始めました。

明らかに、この少年が直感したように、時間について探究し理解すべきことは「たくさん」あります。そして、私たちが置かれている社会的、文化的状況を考えると、「この」時期に「この」メッセージを与えてくれたグルマールに、私はとりわけ感謝を感じます。世界は不安定に感じられます。私たちが生活、コミュニティー、そして国を築いてきた構造は、かつて信じていたほど健全ではないことを目の当たりにしています。何事にも確信を持つことは困難です。私たちの現実、ほぼ毎日変化しています。

しかし、こうした状況の真ただ中でも、グルマールの 2025 年のメッセージは、私たちに自らの主体性を思い出させます。グルマールはメッセージの中で、「あなたの時間」という言葉を1回ではなく、「2回」使っています。私たちがこれまでずっと知っていたものが不安定に見えることに直面しているときでも、広範囲で制御を失ったように感じられる状況に対処しているときでも、私たちは自分の時間をどのように使うかを完全に管理できます。

このようなことを話し、そして恐らく時間のより難しい性質に思いを巡らせてきましたが、私の心を本当に「有頂天にするような」ニュースを皆さんにお伝えしたいと思います。この一年を通して、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで、私たちはグルマールからメッセージについての教えを受け取っていきます。

それぞれの教えは、あなたにとっての個人的なマントラのように考えられるかもしれず、覚えやすく、日々の生活の中で応用できる方法を見つけることができるものだ、グルマリーは言っています。これらの教えは、今年の私たちのシッダ・ヨーガのサーダナーにとって大きな支えとなり、熟考、解釈、実践の無限の可能性を生み出すと、私は確信しています。皆さんの多くは、グルマリーのメッセージをどのように実践するかを既に検討していることと思います。ある人が最近、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで次のように共有しました。

「グルマリーのメッセージを聞いて私にとって印象的だったのは、時間に敬意を払うことを実践しなければならないということです。時間を尊重しなければなりません。時間に感謝しなければなりません。時間は私の人生にとって不可欠です。何を、どのように、どこで、このメッセージを実行する必要があるかについて、今、深い熟考が私の心に湧き上がっています」

まずグルマリーのメッセージを受け取り、そして今度はグルマリーのメッセージの探究を導くこれらの教えをグルマリーから受け取ることは、恵みに次ぐ恵みです。信じられないほど恵まれ、信じられないほど幸運であると感じます。グルマリーが弟子たち、そしてこの道にやって来る新しい探究者たちに対してどれほどの愛情を持っているかに、私は深く感動しています。

また、この幸運には責任感も伴うと感じています。それがグルと弟子の関係の核心ではないでしょうか。グルは教えを与え、弟子である私たちはその教えを探究し、理解し、自分の生活の中でそれを応用するよう努めることでその教えに従う責任があります。結局のところ、グルの教えと対話し、交わるときに、その教えは私たちにとって現実のものとなり、私たちはその変容の力を体験し、自分自身の教えにアクセスすることがより可能になるのです。

それではここで、筆をおくことにしましょう。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2025 SYDA Foundation®.著作権所有。